

福津市 社協だより

11

2023

P2～4 特集

赤い羽根
共同募金運動が
はじまりました

- P4 This is my Artのご案内
- P5 小地域かわら版
- P6 ささえーる ～福津市基幹相談支援センターだより～
- P7 あんしん安らか事業のご案内／連載 こんにちは！民生委員です！
- P8 福祉当事者団体のご紹介



がはじまりました

期 間

10月1日



12月31日

福津市内での様々な福祉活動に
赤い羽根共同募金が活用されています

宮司3区福祉会



誰も孤立させないまちづくりのために

- 小地域福祉会の活動支援
(サロン活動、買い物支援、見守り活動)
- 地域福祉に関する研修会の開催
- 災害ボランティアセンター設置に備えて
など

心のきゃっちぼーる こいのぼりの会



ボランティア活動充実のために

- 手話・点訳・音訳などのボランティア活動
- 新たなボランティアの育成
- 活動に必要な保険の加入
など

西福間5区 (多世代交流)



子どもたちの福祉の学びの場に

- 市内小中学校での福祉体験教室
- 福祉用具やレクリエーション用具の貸出
- 地域福祉活動の広報・啓発
など

赤い羽根共同募金の福津市内での
使いみちの詳細はこちらでご覧になれます

はねっと 福津市

検索



特集

赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金とは？

赤い羽根共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な活動を支える募金です。皆様から様々な形でご協力いただいております。福津市では昨年度、**9,294,216円**をお寄せいただきました。ご協力いただいた募金は、福岡県共同募金会から福津市の地域福祉活動などに配分されます。また、災害発生時のボランティア活動のためにも共同募金が使われており、準備金として積み立てられています。福津市に住むすべての人々が安心して暮らすことができるように、今後ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

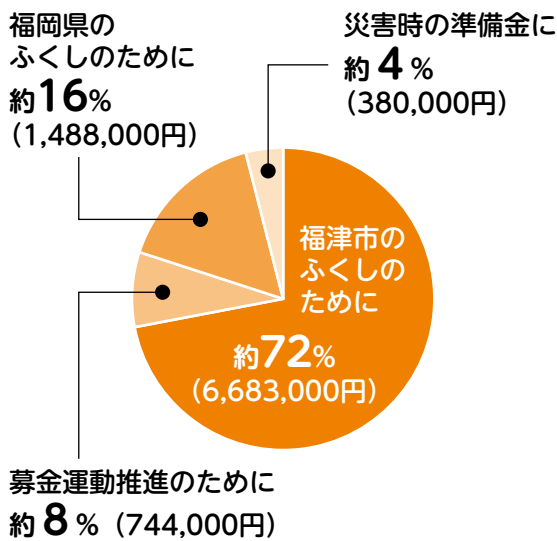


募金の目標額について

赤い羽根共同募金は、福祉課題解決のため、活動に必要な額を目標額として募金運動を実施しています。戸別募金で協力をお願いしている目安額(福津市は1世帯600円)は、この目標額を基にご案内させていただいています。募金は任意で、強制ではありません。みなさまのできる範囲でのご協力をお願いいたします。

(領収証発行をご希望の際はご連絡ください。TEL/0940-34-3341)

令和5年度 募金計画



令和5年度の福津市目標額は**9,295,000円**です。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。



赤い羽根応援大使 福岡ソフトバンクホークス 大津亮介投手からのメッセージ

「心がつながる支えあいというフレーズに共感をおぼえます。赤い羽根共同募金、人と人のつながりは大切だと思うので皆様ぜひ協力よろしくお願いします。」

こんな募金方法もあります!!

赤い羽根グッズ



図書カード
(1,000円以上の寄付)



QUOカード
(1,000円以上の寄付)



バッジ
(500円以上の寄付)



ネックストラップ
(800円以上の寄付)

売上の一部が募金になります

ネット募金



スマホからも、
募金できます!



マンスリーサポーターとして継続寄付して下さる方を募集しています。左記QRコードから登録できます(1回限りの募金も可能です)。福津市の地域福祉活動へのご支援をよろしくお願いいたします。

口座振込

(募金口座)

金融機関	支店	口座番号	口座名義
福岡銀行	福岡支店	普通預金 1280995	福) 福岡県 共同募金会
西日本 シティ銀行	福岡支店	普通預金 1269541	福津市支会 会長 権現昭二

※上記口座に窓口で振り込む場合、窓口にて振込手数料の免除対象であることをお伝えください。手数料が免除されます(本支店は問いません)。

開催します!

今年も



This is my Art

2024

1.14 ^{SUN} ▶ 1.21 ^{SUN} **入場無料**

イオンモール福津 2階 イオンホール

※最終日は午後8時まで

福津市障がい児・者アート展

福津市に関係ある障がい児・者の方の作品を一同に集めた「福津市障がい児・者アート展『This is Art』」を、今年度も開催することになりました! 多くの方のご来場をお待ちしております!

小地域福社会研修会開催!!

令和5年9月8日（金）に、小地域福社会役員や第2層生活支援コーディネーターなど75名の参加を得て、令和5年度小地域福社会研修会を開催しました。

研修会は、初めに社会福祉協議会で実習中の学生から、福津市の人口や高齢化率などの現状について発表があり、続いて社協から、小地域福社会について説明を行いました。

その後、筑紫女学院大学 山崎安則教授を講師に迎え「地域共生社会への第一歩～人づくり、つながりづくり、地域づくり～」と題し講義いただきました。

山崎教授からは、主に2点について話がありました。1点目は、地域活動を楽しむことの重要性です。地域での活動をとおして他者と接点を持ち、社会参加することは、自身の健康維持に繋がることがデータでも証明されています。参加者・スタッフがお互いに楽しみながら活動に参加することが大切になってきます。

2点目は、地域の課題を自分のことと捉え、支え手・受け手の関係ではなく、お互いができることを出し合いながら活動することです。誰かの役に立っている、誰かと繋がっているという気持ちは、生きがいにも繋がります。地域の活動に参加するみんなが役割を持ち、互いに支え合いながら活動していくことの重要性が確認されました。

講義の後、グループに分かれて「担い手づくり」をテーマに情報交換を行い、それぞれの取り組みや課題の共有を行いました。



筑紫女学院大学 山崎 安則教授



研修会を終えて…



東福岡3区福社会
木元 一ノ瀬 紀美子 さん
元 貴代美 さん

分かりやすい講演で、いい話を聞けました。福祉活動全体が上手くいけばいいと思います。郷づくりセンターで活動している方々にも、聞かせてあげたい話がたくさんありました。生活支援コーディネーターのことを初めて知りました。ありがとうございました。



的岡区福社会
福本 正 秋 さん

とても良い研修でした。誰もがお互いに認め合う地域という理想はありますが、それぞれの地区での課題があり、思いはあるができないこともあるのが現状だと思います。他の福社会とは連絡を取り合ったりしていますが、情報交換がもっとできると良いと感じました。

お問い合わせ先 福津市社会福祉協議会 ☎0940(34)3341

ささえーる

福津市基幹相談支援センターだより

「ささえーるは、“支える”+“エール(応援)”を合わせた造語です」

令和5年4月に福津市に基幹相談支援センターが開設し、約半年が経ちました。

当センターは、障がいに関する総合相談窓口として、開設以降100件を超えるご相談をいただいています。その中でも特に「ひきこもり状態にある方」の相談が増えてきています。今回は、“ひきこもり状態”についてご紹介していきます。

内閣府の「2022年度子ども・若者の意識と生活に関する調査」で、ひきこもり状態にある方は、15歳～39歳で2.05%、40～64歳で2.02%おり、全国の数字に当てはめると約146万人と推計されています。



ひきこもりの定義 [6ヵ月以上]

(出典) 2016年内閣府「若者の生活に関する調査報告書」

ひきこもりの定義は、「様々な要因の結果として社会的参加を回避し、原則的には6ヵ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態を指す現象概念」(厚生労働省より)とされています。

つまり、外出ができるかどうかが基準ではなく、家族以外との関わりがない、家族とすらも関わりがない状態のことを指します。

広義のひきこもり



趣味の用事のときだけ
外出する

準
ひきこもり



近所のコンビニなどには
出かける



自室からは出るが、
家からは出ない

狭義の
ひきこもり



自室からほとんど
出ない

ひきこもり状態＝“悪いこと”ではありません。ひきこもり状態にある方の背景には、ストレスや環境の変化、精神疾患や発達障がいなど、さまざまな理由や想いがあります。また、これらが複雑に絡み合っており原因を1つに特定できない場合が多くあります。当センターでは、相談者の心配ごとや現状を整理し、寄り添いながらそれぞれに合わせた方法を一緒に考えていく支援を行っています。

ただ、ひきこもり支援は、とても時間がかかるものです。次のことを忘れずに、時間をかけて関わっていくことが大切です。

ひきこもり状態を責めたり、就職を急かしたりせず、本人の生きづらさの背景を理解することが大切です



ひきこもり状態にある方は、「困った方」ではなく「困っている方」である、という視点でみてみませんか

いつでも
ご相談ください

福津市基幹相談支援センター

TEL / 0940-62-6004

メール / kikan@fukutsu-shakyo.or.jp

「自分のことは自分で決めておきたい」そんな方へ

あんしん安らか事業のご紹介



「自分の亡くなった後のことはどうしたらいいんだろう…」このようなことでお困りではありませんか？

住み慣れた地域で安心して最後まで生活を送ることができるよう、福津市社会福祉協議会では死後事務に関することが行なえる『あんしん安らか事業』を実施しています。

『あんしん安らか事業』では、ご本人の意向に沿った葬儀の実施や死後に発生する手続き事務等について支援計画書を作成し契約を締結します。「まだ先のことだけど…」と思われる方も一度、ご相談ください。

〈近年の葬儀の形について〉

コロナ禍での葬儀の主流は「一般葬」から「家族葬」へ変化してきています。また、宗教儀式のない火葬のみのお別れの形として「直葬」「火葬式」というものも2020年には4.9%であったものが2022年には11.4%と増加傾向にあります。また通夜を省略し本来二日間かけて行う納棺・告別式・火葬を一日で行う「一日葬」という形を選択する方もコロナ禍以前より注目を集めているそうです。

〈行った葬儀の種類と変化〉

[2020年] 一般葬48.9%、家族葬40.9%、一日葬5.2%、直葬・火葬式4.9%

[2022年] 一般葬25.9%、家族葬55.7%、一日葬6.9%、直葬・火葬式11.4%

(引用) 株式会社鎌倉新書「第5回お葬式に関する全国調査(2022年)」

連載

こんにちは！

民生委員です！

広げよう！地域に
根差した思いやり！

活動のモットー 「顔を見て、声を聞いて」

Q 民生委員を引き受けたきっかけを教えてください

A 自治会からの推薦を受けて民生委員の活動を始めました。家族の応援もあり、2期目の現在は神興地域のブロック長として各民生委員や主任児童委員と協力して活動を行っています。

Q 民生委員としてどのような活動を行っていますか

A 高齢者などの見守り訪問活動を主にしています。訪問した方の急な訃報を聞く経験を元に、訪問した際にはその方のお顔を見ることや、声を聞くことにしています。会えない時には、メッセージを残しておく、後から電話がかかってくることであり安心します。コロナ禍では、マスクを着用し家の外から声を掛け元気でいらっしやるかどうか気にかけて活動をしていました。

また、趣味の散歩の時に地域の方と挨拶を交わし元気な姿を見て安心しています。

Q 訪問活動以外にはどのような活動がありますか

A 地域の方から心配ごとや困りごとを相談されることが多いです。まずは、じっくりと話を聞いて、専門職や関係機関につなぐ橋渡し役をしています。自分だけでは解決できない内容が多く、困ることが多いですが、他の民生委員の事例を参考に懸命に考え、相談された方に解決に向けた情報提供をして支援しています。



手光・冠担当
藤 千賀子 さん

これからも、地域の方の顔を見て、声を聞いて、住民の方が安心して暮らせる地域づくりに繋がるように民生委員の活動を続けていくとのことでした。

福祉当事者団体のご紹介

社会福祉協議会では、同じ福祉課題をかかえている方たちの団体を支援しています。福祉当事者団体は、悩み・不安・苦しみ・悲しみなど会員同士で様々な気持ちを分かち合える共感と、体験や想いを共有できる場です。想いを共感してくれる人や仲間の存在は大きく、日常の支えとなっています。また、具体的な経験から見出された生活の工夫や、知恵も共有され、当事者同士だからこそ可能な互助・共助の力となっています。

さらに、自分たちの状況や課題を社会に発信していく役割も持っています。

一度見学してみませんか？ 歓迎します！

福津市身体障害者福祉協会

会員の自立、社会参加、会員相互の交流・融和を図り、身体障がい者の福祉の向上を目的に活動しています。



活動日 毎月第3水曜日（ふれあいの集い）、スポーツ大会、研修会等

活動場所 ふくとぴあ他

会員の声 会員同士で、障がい者に関する制度情報を共有することを大切にしています。

福津市あすなろ会

障がい児者と親の会として、会員の不安や問題に少しでも役立つ勉強や活動をしたいと考えています。



活動日 毎週木曜日（親のつどい、勉強会等）

活動場所 ふくとぴあ

会員の声 親亡き後の子どもたちの生活、親自身の健康管理の大切さについて、が大きな関心のテーマとなっています。

福津市在宅介護者ぶどうの会

在宅で高齢の方、障がいのある方などを介護している人が、悩みや不安を本音で語り合い、情報交換やよりよい豊かな生活を営むとともに、介護にかかる課題を解決していくことを目指しています。



活動日 年5回（研修会、親睦会）

活動場所 ふくとぴあ

会員の声 常に頭から離れない介護の現状から、少しでもリフレッシュできる場所となるよう取り組んでいます。

広報誌についてのお問い合わせ先



社会福祉法人

福津市社会福祉協議会

☎0940-34-3341

〒811-3218 福岡県福津市手光南2丁目1番1号 URL: <http://www.fukutsu-shakyo.or.jp>